



JA利根沼田こめ生産部会

J A米生産に向け講習会を開催

J A利根沼田こめ生産部会は2月10日、本店と新治支店でJ A米取組説明会及び水稲栽培講習会を開き、部会員と関係者合わせて75人が参加しました。

J A全農ぐんまの担当者はJ A米の要件と生産基準を説明しました。また、講習では利根沼田農業事務所の渡技師による令和7年度産水稻作柄と来作に向けたポイントを解説。令和7年度の収量は全体として平年並みからやや少なく、品質については白未熟粒や胴割れ粒が等級低下に影響したと報告しました。その後、土壌診断による土づくりや来作に向けたポイントについて説明しました。

J A担当者は「年に数回、農業事務所と協力し講習会を開催している。今年も講習会を行うので、是非参加していただき、品質の向上や収量の確保に役立てていただきたい」と参加者へ呼びかけました。



説明する渡技師

沼田市りんご組合・沼田市ぶどう組合

来作に向け、講習会を実施

沼田市りんご組合は2月3日、本店で通常総会を行い、組合員と関係者合わせて57人が参加しました。総会では令和7年度の事業報告や収支決算、令和8年度の事業計画などの議案が審議されました。総会終了後には、利根沼田農業事務所の担当者による講習会が行われ、病害虫の防除対策について学びました。

また、沼田市ぶどう組合は2月6日、沼田市の池田地区コミュニティセンターで総会を行い、組合員と関係者合わせて37人が参加しました。総会では、令和7年度の事業報告などが行われました。



リンゴの病害虫防除対策講習

ブドウ品評会の表彰



総会終了後には、沼田市ぶどう組合主催の品評会の表彰式や利根沼田農業事務所の担当者による講習会が行われました。講習会では、防除暦の変更点や病害虫の防除対策、着色不良対策について学びました。

青年部月夜野支部

「みなかみまごころ便」を発送

青年部月夜野支部は2月13日、農産物などを詰め合わせた定期便「みなかみまごころ便」の出荷作業をしました。青年部員8人がダンボールに地元の農産物や加工品を入れ、発送しました。

今回発送したのは「イチゴ便」で、みなかみ町産のイチゴやシタケ、りんごジュース、ブルーベリージャムなど、11品の農産物や加工品をそろえました。



発送作業をする青年部員

群馬県きのこ品評会

県内産きのこの出来栄を競う

2月3日と4日、前橋市の県庁で「第29回群馬県きのこ品評会」が開かれました。この品評会は群馬県産きのこの栽培技術や品質の一層の向上、きのこ産業の振興、きのこの消費拡大を目的としています。

利根沼田管内からはその他の部（ぶなしめじ）で片品村の星野宗一さんが群馬県知事賞を受賞、その他の部（エリンギ）で沼田市の小林一之さんが全農ぐんま賞に選ばれました。また、なめこの部では沼田市の高山未来さんが全農ぐんま賞に選ばれました。

応募総数は、全体で186点出品され利根沼田管内からは、45点出品されました。